

そ^{だい}大ごみとは、農^の機^き具、バ^いク、冷^{れい}ぞう庫、テ^こレビ、ガ^スボンベ、ドラム^{かん}などをいいます。

② ごみのしまつ

塩川町では、ごみ^{しゅうしゅうかいしゃ}収集会社^{ねが}にお願いして、家庭から出されるごみを集めています。家庭では、もえるごみ、もえないごみ、粗大^{そだい}ごみ、資源^{しげん}ごみに分けます。そして、決^きめられた日に、決^きめられた場所に出すことになっています。ごみ^{しゅうしゅうかいしゃ}収集会社の人たちは、町内をまわってごみを集めます。

資源^{しげん}ごみは、空^あきかん・空^あきびん・ペ^{ット}ボトル・古^こ紙・布^{ぬの}などリサイクルできるものをいいます。

塩川町では、空^あきかんは、く^うかん鳥^かというきかいを各^{かく}小学校において、アルミ^{かん}とスチール^{かん}に分けて集めています。空^あきびんは、色^{しき}別に分けて集めます。ペ^{ット}ボトルは、中^{ちゆう}をきれいに洗^{あら}って、つぶして集めています。

また、小^{ちゆう}中^{ちゆう}学校のはい品^{かいしゅう}回収^{かいしゅう}の時には、新聞紙^{しんぶん}、広^{こう}告^{こく}、段^{だん}ボール、ざ^{るい}っし類^{るい}などを集めています。

これらのものは、身^み近^{ぢか}な製^{せい}品^{ひん}に形^かを変^かえて役^{やく}立^たっています。ですからわたしたちは、資^{しげん}源^{げん}ごみをごみとしてあ^あつかわないで、資^{しげん}源^{げん}物^{ぶつ}としてあ^あつかうようにしたいものです。

しげんぶつ ふんべつしゅうしゅう 資源物の分別収集

